

3年生の声①

帯広市立第八中学校出身

【主将・捕手・投手】

このたび就職を希望する企業より内定をいただくことができました。

私は入学当初から事務職を志望しており地元帯広で生きがいを持って働きたいと考えていました。私がこのように希望の進路を実現することができたのも、野球部の活動の中で様々なことを学び・感じ、生活してきたからだと思います。南商野球部の活動は決して楽なものではありませんでしたが、素晴らしい施設や環境のもと野球を一生懸命に頑張り、勉強面では、野球部の勉強会をとおして、全商検定1級5種目を取得することができました。目標としていた全道大会出場を果たすことができずに、悔しい思いもしましたが、これからの長い人生で活かせることを学び、身につけることができたと考えています。

また、主将として、監督・部長と話す機会も多くありました。自分やチームのことで悩んだときには、考える材料、解決するヒントを与えていただきました。自分やチームが成長するきっかけとなりました。さらに、就職試験の際には、忙しい中でも熱心に面接練習の指導をしていただきました。

南商野球部の先輩たちは、帯広・十勝で活躍している方が多く、様々な面で、野球部を支えてくれています。帯広南商業高校自体も地元から信頼されている学校です。就職・進学をした先輩たちは「南商の勉強や部活動で学んだことは、社会に出てから活かすことができる」と話しをしてくれました。

私は、帯広南商業高校に入学し、野球部に入部して3年間過ごせたことが本当に幸せだったと感じています。『野球に一生懸命に取り組みたい』『勉強と部活動の両立をさせたい』という中学生のみなさん。ぜひ南商野球部に入り頑張ってみませんか。

帯広市立緑園中学校出身

【内野手】

私は十勝管内の農業協同組合から内定をいただきました。

私が志望した企業に内定を頂けたのも、自分だけの力だけではなく、朝から晩まで私に関わってくれ、野球の技術だけではなく勉強から進路まで面倒をみて下さり、たくさんのアドバイスをしてくれた監督・部長、そして、野球部の伝統を築いてくれた野球部OB・OGの方々のおかげだと思っています。

また、監督は「高校野球はいつか終わる。だから野球だけではなく勉強もして、進路で他の人たちに負けない武器を手に入れろ」と南商野球部のモットーである「文武両道」を徹底してくれました。検定やテストが近づくと、野球部の勉強会が開かれます。オフシーズンは、野球より勉強が中心となり、検定取得に励みます。その甲斐あり、定期テストも良い点が取れるようになり、検定では全商検定1級5種目を取得することができました。このような経験を得られ、私は南商野球部で本当によかったと思っています。来春からは、社会人として働くわけですが、今まで支えてくれた方々に感謝の気持ちを忘れず、野球部で学んだことを生かして活躍していきたいと思っています。そして、私も今度は支えて、守っていく立場になれるよう日々精進していきます。

このように、南商野球部では進路実現を目指しながら、野球にも一生懸命に打ち込めることができます。「野球を思う存分したい」「野球と勉強の文武両道を成し遂げたい」と考えている中学生のみなさん、ぜひ南商野球部へ！！



（面接練習の様子1）



（面接練習の様子2）